

2024年4月28日
4月第四主日礼拝式



「聖書名目づくし」(子ども賛美)

旧約聖書

1. そう、しゅつ、レビ、みん、しんめいき
ヨシュア、しし、ルツ、サム、れつおう
れきだい、エズ、ネヘ、エステル書
ヨブ、詩、しんげん、でんどう、がが
2. イザヤ、エレ、あい、エゼ、ダニル
ホセア、ヨエ、アモ、オバ、ヨナ、ミ
ナホム、ハバクク、ゼパ、ハガイ
ゼカリヤ、マラキ、さんじゅうく(39巻)

【次】

「聖書名目づくし」(子ども賛美)

新約聖書

3. マタイ、マコ、ルカ、ヨハネ伝
使徒、ロマ、コリント、ガラテヤ書
エペソ、ピリ、コロ、テサロニケ
テモ、テト、ピレモン、ヘブル書
4. ヤコブ、ペテロ、ヨハネ、ユダ
ヨハネの黙示、にじゅうしち(27巻)
旧、新、両約あわせれば
聖書の数は ろくじゅうろく(66巻)

140 互いに愛し合い

たがいに愛し合い

主イエスの愛を

すすんで世界にあらわそう

ともに

日ごとに新たな きよい主の愛

さあ今 手を取り あらわそう

新聖歌145番 「栄えに満ちたる」

- 1 栄えに満ちたる 神の都(みやこ)は
千代経(ちよえ)し巖(いわお)の 礎(いしずえ)かたく
救いの石垣 高く囲めば
み民の安きを 誰(たれ)かは乱(みだ)さん
- 2 尽きせぬ愛より 命の泉 豊かに湧き出て
汲(く)めど尽きねば み国の世つぎは 渴くときなく
あふるる恵みに 絶えずうるおう
- 3 み恵み受けつつ 生くるみ民は はかなき楽しみ
むなしき富に ほこれるよびとの嘲(あざ)みにあえど
こよなき喜び 露(つゆ)も変わらじ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌220番 「恵みの光は」

1 恵みの光は わが行(ゆ)き悩む
闇路(やみじ)を照らせり 神は愛なり

* われらも愛せん 愛なる神を

2 うき雲 覆(おお)えど み顔の笑(え)みは
さやかに照りいず 神は愛なり 【*】

3 憂(うれ)いするときにも 望みを与え
慰めたまえり 神は愛なり 【*】

4 ものみな移(うつ)れど 恵みの光
永遠(とわ)にぞ輝く 神は愛なり 【*】

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン